

田村市指定有形文化財

いそ さき じん じゃ しゃ でん
磯 前 神 社 社 殿



田村市常葉町早稲川字上遠野地内に所在する磯前神社は、平家の落人とされる坪井氏（もとは土井氏）が享保年間（1716～1736）に上遠野（現いわき市上遠野）から勧請したと伝えられています。

現在の社殿は明治27（1894）年に再建されたもので、建築には石森村（現 田村市船引町石森）の伊東九賀之助が大工棟梁としてかかわっています。間口約2.8㍍、奥行き約2.6㍍の社殿は、入母屋造りで、土台の三隅を自然石に架けた「懸造り」様式です。この懸造り様式は福島県内ではあまり例はありませんが、よく知られている建造物に会津美里町の左下り観音堂（福島県指定重要文化財）があります。

なお、磯前神社へ登拝するには急な石段を登り、社殿の床下をくぐり抜けて前縁の東端に上らなければなりません。